

提携：NSW州教育省・QLD州教育省

オーストラリア

ニューサウスウェールズ州・クイーンズランド州

公立高校留学

1年間・6ヶ月・3ヶ月留学



総合型選抜（旧AO入試）の為に英検1級/準1級取得・SDGs研究・ボランティア体験





この公立高校留学ではグローバル人材の育成のために
3つの目標を推奨しています

❶ 英検1級/準1級取得 ❷ SDGs研究と論文作成 ❸ ボランティア体験

OKCの概要

- ★オーストラリア・ニュージーランド専門の留学代理店として1985年4月設立
- ★2006年オーストラリア政府より教育産業の貢献が認められアワード受賞
- ★オーストラリア・ニュージーランド5都市に直営事務所を展開
- ★2016年米国シリコンバレーに於ける研修の案内を始める、現地連絡事務所を開設
- ★2018年SDGs活動への支援開始に伴い、SDGs研修の案内を始める



OKCは日本で最初の
オーストラリア・ニュージーランド
専門留学代理店

ビジネスアワード受賞

オーストラリア政府より
留学団体では唯一の受賞



私共OKCがめざすものは中学・高校留学を通じて国際的視野で考え行動し、その体験が人生の貴重な財産となり真の自立に繋がることです。
学校の国際教育事業においては私共が提案する教育プログラムやお手伝いが、学校の独自性の確立や国際教育の一助となり、更なる学校の発展に繋がり、そして参加した生徒が社会に巣立つ為の道標になることを願っています。
日本がますます国際社会において重要な役割を求められる中で、OKCの提案が次代を担う若者の育成に役立ち、新たな人生の発見に貢献出来ましたら、これほど喜ばしいことはありません。

OKC 代表 西村 紘史



■ 中学・高校留学の魅力

日本の20倍以上の広大な面積をもつオーストラリアは、国民の約3人に1人は外国出身と言われる他民族、多文化国家です。過ごしやすい気候や、おおらかな国民性、治安のよいことから、世界で最も住みやすい国としても定評があります。人口2300万人の国でありながら、世界では3番目に留学生の数が多く、国として教育に力を入れていることから、教育水準が世界トップレベルなことでも知られています。

■ 特色

セカンダリースクールには公立と私立があります。オーストラリアの公立高校は各州政府の管轄下にあり、全体の4分の3を占めています。男子校、女子校もありますが、ほとんどが共学校です。私立校には共学校、男子校、女子校があります。その多くは、宗教（カトリック、プロテスタント、英国国教会）を母体とした組織が運営していますが、学校内での宗教色は強くありません。私立校の方が、一般的にスポーツ施設やコンピュータなどの設備が整っています。

■ 教育制度

オーストラリアの教育制度は各州に教育を担当する行政部を設け取り仕切っています。その為、州によって異なりますが、基本的にはイギリス型です。日本のような6・3・3制とは異なり、Year1からYear12までの学年制です。初等教育（Primary School）はYear1からYear6まで、中等教育（Secondary School）はYear7からYear12までです。つまり、日本の中学1年生から高校3年生までを合わせたものをセカンダリースクールと呼びます。但し、クイーンズランド州ではyear8からYear12までがセカンダリースクールです。Secondary SchoolはさらにYear7からYear10のJunior Secondary（Middle Schoolと呼ぶこともあります）とYear11からYear12のSenior Secondaryに分けられます。

英語教育の充実

オーストラリアでは入学条件として学業成績と英語力が求められます。英語力が不十分な場合は学校の指示に従い英語の補習校コースや進学・編入準備コースを経てからの入学となります。期間はスタート時の英語力にもよりますが6か月から1年程度です。英語力、学習に対する十分な力を得て本科コースに進みますので授業の理解度は高く、より深く学習することが可能になります。また一般クラス編入後も英語のトレーニングサポートを受けることが出来ます。

教育水準

オーストラリアでは高校や高等教育機関で取得した単位を国の統一システムへ互換、認定できるAQF = Australian Qualification Frameworkがあります。単位が認定されると高校卒業後の大学進学、編入等がスムーズに行えます。履修科目は生徒の興味、得意なものを優先するため多彩な科目が用意されています。多国籍国家ならではの外国語教育、将来のキャリアへつながる実践的な科目や職業実習なども含まれます。

高学年になるとより選択科目が増え、自主的に勉強する自主学習の時間も増えます。大学やカレッジと連携している学校も多くカレッジの資格（Certificate）を取得できる場合があります。

親日的で過ごしやすい環境

オーストラリアは多くの移民を受け入れてきた他民族国家であることから、多文化に対しても大変オープンで平等な価値観をもっています。学校では違った文化や宗教をお互いに尊重しあう精神や、違った意見を受け入れる心を大切にしています。

また、小学校から日本語の授業を取り入れている学校も多く、英語圏の学校では日本語学習者がトップであることも、日本人留学生にとっては馴染みやすい環境です。州や学校によっても魅力が様々なため、スポーツ留学、ロボティクスやサイエンス等の自分の強みや興味を追究した留学のデスティネーションとしてもお勧めです。

留学生を保護する法体系

オーストラリアでは留学生が安全・安心して生活できるよう、オーストラリア政府は留学生を受け入れる全ての教育機関に徹底した遵守を義務付けています。

■ オーストラリア ESOS「留学生のための教育サービス法」

留学生の受け入れサポートの為、ESOS法と呼ばれる国家法やCRICOSと呼ばれる教育機関登録制度があります。学費を含む、留学生の権利を保護するのが目的で何しろの事情で学校側がコースを実施、継続することが難しい場合にも留学生のための転校および返金サービスを受けられます。留学生受け入れのために法律や義務を制定しているのは世界的に見ても珍しくオーストラリアが国を挙げて留学生受け入れを歓迎している様子が伺えます。

世界でも高水準の教育環境

オーストラリアでは、連邦政府が教育制度を管轄しており、州によって多少の違いがあります。（例えば、クイーンズランド州では小学校は7年生までですが、他の州では6年生までとなっています）中学・高校（セカンダリースクール）は7割以上が州立校の共学となり、小学校から高校までの12年制（準備学級を入れると13年制）となります。大学、又は職業訓練校に進学を希望する生徒は、11年生、12年生の進学準備過程へ進み、統一資格テストの点数によって、希望する高等教育機関に進みます。

日本とは違う授業スタイル

オーストラリアは日本のように一方的に教える教育スタイルではなく、生徒がコミュニケーションスキル、発想力、表現力を伸ばすことが出来るような教育環境を与えていることが特徴です。クラスサイズも少人数制をとっており、学習サポートを必要とする生徒に対しては個人的な学習プログラムを提供し、優秀な生徒にはギフトド教育の育成プログラムも行われています。

また、生徒のグループプロジェクトや、プレゼンテーション、Eラーニング、課外授業なども積極的に取り入れており、生徒の将来を見据えた教育方針を行っています。





■留学生の一日

7:00AM 起床

身支度をして朝ごはんの準備。
ランチ用にサンドイッチも作ります。

8:40AM ホームルーム開始

まずはホームルームで出席の確認。
学校からの連絡事項を聞きます。

9:00～11:05AM 1、2時間目の授業

生徒が教室を移動するスタイルのオーストラリア。
1時間目が終わってから2時間目のクラスまで
急いで移動します。

11:05～11:25AM モーニングティータイム

軽食の時間です。ランチまでまだ時間があるので
ランチの半分を食べました。

11:30～12:25PM 3時間目の授業

12:25～13:05PM ランチタイム

持参したランチの残りを食べて、
友達とおしゃべり

13:10～14:05PM 4時間目

14:10～15:05PM 5時間目

15:30PM 帰宅

ディナーまで宿題をします。

18:00PM 夕食

ファミリーと一緒に夕食を頂いて片付け。
シスターと一緒におしゃべりしながら片付けします。

19:30PM シャワー

20:00PM ファミリーとテレビ鑑賞

22:00PM 就寝



■体験談（ブリスベン）

日本にいた頃から留学に向けての勉強をしていたので、英語には多少自信がありました。しかし、いざ現地へ着いて突きつけられた壁は、私の力がどれだけ乏しいかを示すものでした。きっと、日本にいた時は自分の持っていた力を客観的に見ることができていなかったのだと思います。そのため、自分の思うように感情を表現できなかったり、相手の言っていることが理解できなかったりすると、スランプに陥ることも多々ありました。でもその壁を乗り越えることで、英語力や精神面でも一回りも二回りも成長できたのだと思います。また、現地での生活を通してたくさんの友達ができました。

第二外国語である英語でコミュニケーションを図るのはとても大変でしたが、私の拙い英語も一生懸命理解しようと努力してくれ、私が困っているときには助けてくれたりもしました。この留学で得た人間関係は私のかけがえのない宝物です。

次に、精神面での成長です。しかし、留學生活では、人に頼ってばかりはいられず、自分自身で解決しなければいけないことばかりでした。留學中は苦しいことが多かったように思います。その度に挫折しそうになりました。けれども、前にも述べた通り、困難と向き合い、その壁を乗り越えることで、精神的にも強くなったと思います。また、自分自身としっかり向き合えるいい機会にもなりました。高校生という時期に留学ができたことは自己形成といった面で私にとってプラスの影響を与えたと思っています。



■体験談（ゴールドコースト）



僕は、約3年間、オーストラリアのゴールドコーストにある高校に留学しました。現地ではOKCの日本人スタッフが、当初は右も左もわからない僕をサポートしてくれ、現地の高校入学に必要な英語力を証明するIELTSのスコアが取得出来なくて悩んでいた時も支えてもらいました。

スコアを取得できてゴールドコーストの現地の高校のPalm Beach Currumbin State High Schoolに入学できた時の喜びは、今でも忘れません。ずっと目標にしていた、サーフィン特別クラスのスポーツエクセレントクラスに入れたこと、仲間達とサウスコースト代表としてスクールタイトルに出場できたことは一生の思い出です。また、約3年間の高校留学を通じてたくさんの友達ができ、語学や異文化を学ぶことができたことは、素晴らしい経験になりました。留学で学べたことは、言葉では簡単に表せませんが、たくさんのことを吸収して一回り成長できたなと感じます。

現在は帰国子女として上智大学に入学することができ、外国語学部ポルトガル語学科の学生として、勉強とサーフィンを両立して頑張っています。

■オーストラリア スタッフより



林 正治

シドニーはオーストラリア最大の都市であり、最も国際色豊かな都市でもあります。英語を身につけ、国際性豊かな友達をたくさん見つけてください。

佐藤葉衣子

多彩なオーストラリアの魅力を知り尽くした現地在住歴豊富な私たちとともに現地でしか体験できない有意義な時間を一緒に作りましょう。経験は人生において何よりの財産です。



学校生活

体育祭・水泳大会

1学期のお楽しみといえば、体育祭！

自分が所属するハウス（縦割りのグループ）カラーでフェイスペインティングしたり、ドレスアップして盛り上がります。

競技への参加は自由なので、参加する場合はエントリーをお忘れなく！



スクール・プロダクション

地域の方をお招きしての発表会で、ほとんどの学校が2年に一回、行います。

脚本、ダンス、歌、衣装、舞台芸術、照明、プロモーション・・・関わる全てを生徒達の手で作り上げる一大イベントです。

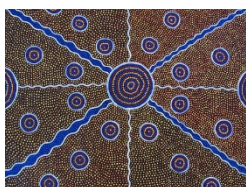
多くの学校がパフォーミング・アートの授業を有しており、生徒達は学校で学んだすべてを披露します。

高校生たちとは思えない、本格的なプロジェクトです。

授業風景

フード・テクノロジーでは本格的な料理技術を身に着け、アートでは自分の個性を表現する方法を学びます。

座学の授業では各自ノートパソコンを使用した授業が主流です。情報収集やレポートの提出、教材システムを利用した学習等、様々な活動を行います。

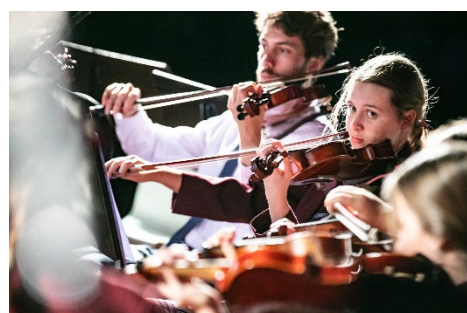


↑アボリジニアート

オーストラリア先住民には「読む」・「書く」といった文字がないため、大自然の中で生き抜くための情報の記録や伝達のために、絵画表現を用いていました。

音楽→

音楽の授業も本格的です。オーケストラ・コーラス・ピアノ・ギター・管楽器など。プロから個別に指導を受けられる学校もあります。



スクール・ボール

上級生になると、学校主催のパーティに参加できます。

男子生徒はスーツやタキシード、女子生徒はドレスにメイクアップでおしゃれしてパーティを楽しみます。OKCの生徒さんの中には浴衣で参加した方も！卒業式のない、オセアニアではこれまでの勉強の集大成ですね。



遠足

留学生のための遠足やアクティビティも充実しています。町まで出かけてお買い物を楽しんだり、ビーチや自然散策、1泊2日のキャンプなど。世界中各国からのお友達と楽しく過ごしましょう！



クラブ活動

シーズンごとにスポーツの活動時期が異なります。シーズン中は毎週末、他校との練習試合や練習があり充実しています。

オフシーズンは他のスポーツに参加している生徒さんも！



食事

ホームステイ宅の食事の様子です。

メインは白身魚のソテー、野菜はピュッフスタイルで好きなものを好きなだけ！

毎晩、ファミリーに一日の出来事を話します。少しずつ、言いたいことも英語で伝えられるようになってきます。（OKCホストファミリー）

ニューサウスウェールズ州の学校紹介（約300校）

Menai High School

メナイ・ハイスクール



ニューサウスウェールズ州
シドニー郊外

公立共学校 生徒数：約1,200名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

海洋研究、マルチメディアデザイン、
日本語、農業、産業技術

メナイ高校はすべての生徒に一流の総合的な教育を提供するために協力しあう力、教育および管理チームの質に自信をもっています。

学校の共通の目的は3つあります。1つ目は、地域社会に価値ある貢献をすることができる優れた人材を育成することです。2つ目は、生徒が生涯にわたって成功する学習者となるように、永続的な学習への愛情を育むこと。3つ目は、進学、就職など、個々の人生で成功するために必要なスキルと能力の育成です。

公立校の中では非常に珍しい海洋研究のためのボートや農業実習のための農場、畜産、また各種スポーツの施設を有する学校で各生徒の目的、特技にあわせて幅広い科目から選択ができます。

技術分野では木材技術、金属技術、電子技術、グラフィックス技術、繊維技術、食品技術などから選択しシニアの学年になるとさらに獣医学、ホスピタリティ、自動車技術等より深く学ぶことが可能です。



Ballina Coast High School

バリナコースト・ハイスクール



ニューサウスウェールズ州
シドニー郊外

公立共学校 生徒数：約854名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

演劇、ビジュアルアート、アボリジニ研究、古代史、地球環境科学

2018年に2つの学校が合併し、「Innovation, Excellence, Diversity」をモットーとしている新設校です。アボリジニの生徒や英語を第一言語としない生徒も多く在籍している多文化な環境です。漁業の中心地であるバリナ地区に位置しています。教室は近代的で設備が整っています。

生徒の創造性を高める教育に重点を置いており、パーソナライズされた総合学習を実践しています。基礎科目はもちろん、アボリジニ研究や宗教など、日本の学校にはないような科目もあります。資質があると判断された生徒は海洋学や航空学を学ぶことも可能です。幅広いカリキュラムの中から、各々の探求心に合わせて科目を選択します。最も重要なリソースの1つに「経験豊富で協力的なスタッフ」を挙げており、生徒にとって支援的な環境であるよう心がけています。また、各生徒は独自の「Learning Map」を作成するよう指導を行っており、生徒の自主的な学習を促しながら、教師やLearning Coachがこまめにアドバイスや評価を行っています。



The Hills Sports High School ザ・ヒルズスポーツ・ハイスクール



ニューサウスウェールズ州
シドニー郊外

公立共学校 生徒数：約920名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

タレントッド・スポーツ・プログラム
(TSP)、中国語など

ヒルズスポーツ高校は、シドニー西部郊外にあるスポーツを専門とする政府が資金提供する総合的で専門的な中等学校です。

一般コース、大学進学コースのほか、スポーツに特化したTalented Sports Program (TSP)を採用し、AFL (オーストラリアン・フットボール)、ラグビーリーグ、野球、テニス、ネットボール、バスケットボール、水泳、サッカー、クリケット、ゴルフ、チャリーディング、陸上競技のコーチングなどスポーツ分野での人材育成に特に力を入れている公立の共学校です。またYear11からはホスピタリティ、陶芸、幼児教育、スポーツ・健康、写真・映像学、ビジュアルデザインなどの専門的なキャリア・コースがあり、学生の幅広い能力を伸ばす教育がおこなわれています。

幅広い科目を提供する教室やパソコンなどの設備を備えた図書館の他、運動場・ジムなどのスポーツ施設を中心に3Dプリンター設備、ロボット工学設備、学生用の食堂などの幅広い設備が整っています。



The Forest High School

ザ・フォレスト・ハイスクール



ニューサウスウェールズ州
シドニー郊外

公立共学校 生徒数：約860名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

音楽、ダンス、演劇、視覚芸術、写真メディア、エンターテインメントなど、芸術全体や自然環境の中でのスポーツ活動

ザ・フォレスト・ハイスクールはシドニー市内から車で30分程度の緑豊かな住宅街に位置しています。

海外からの留学生受け入れを積極的におこなっており、世界各国から1年未満の短期間の留学生受け入れを行っているほか、2019年には日本を含むアジア各国やドイツ、イタリア、フランスなどのヨーロッパ、ブラジルなどから国際色豊かな31名の海外留学生が在籍していました。

海外からの留学生専門のコーディネーターや専門の講師による英語学習サポート、現地生バディーによる1対1のサポートなど留学生へのサポートも充実しています。中国語などの外国語を含む幅広いカリキュラムやスポーツを学ぶことができ、充実したサポートと国際色豊かな環境で充実した留学経験を積むことができます。幅広い科目を提供する教室やパソコンなどの設備を備えた図書館の他、ネットボールやバスケットボールなどの屋内外の運動場、ダンス・演劇スタジオ、コンサートホール、学生用の食堂も完備しています。



クイーンズランド州の学校紹介（約100校）

Mount Gravatt State High School

マウント・グラバット・ステート・ハイスクール



クイーンズランド州
ブリスベン南部郊外

公立共学校 生徒数：約1,180名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

幼児保育、ビジネス学、建築、建設、
工学技術、ダンスなど

ブリスベ市内から車で15分の南部郊外にあるマウントグラバットステートハイスクールは1960年に設立され、毎年50人以上の留学生を受け入れている国際色豊かな学校です。

留学生の受け入れは15年の実績があり、留学生同士のスタディーグループや日本語クラスがあり、日本に興味のある現地学生とのコミュニケーションがとれる魅力の一つです。

多彩で豊富な選択科目や課外授業があり、工学やテクノロジーなどのSTEAM科目に加え、法学・経済学・芸術科目などがあります。

ブリスベ市内からのアクセスも良く周辺にはスーパーや郵便局・ショッピングセンターなどがあり、生活に必要なものは全て揃っている環境です。課外活動はバスバンド・料理・ロボットクラブやスポーツなど数多くあります。Griffith大学が近くにあり、学業の面において大学とパートナーシップを結んでいます。



Palm Beach Currumbin State High School

パーム・ビーチ・カランビン・ステート・ハイスクール



クイーンズランド州
ゴールドコースト

公立共学校 生徒数：約2,457名
学年層：Year7-12（12才～18才）

特色のある科目

海洋学、ダンス、演劇、音楽、デザイン、
工学、栄養学

パームビーチカランビンステートハイスクールは1972年に設立された、クイーンズランド州の中で留学生に人気のある学校の一つです。

学校はサーフィンビーチへ歩いて行ける広大な敷地にある公立共学校です。高級住宅街にあるため治安がとて素晴らしい環境です。

スポーツプログラムではオーストラリア国内でもレベルが高く、スポーツが得意な学生のためのプログラムや美術に特化した学生のためのプログラムなどがあり、何かに特化した才能ある学生のエクセレンスが充実しています。音楽・演劇コースなどそれに伴った施設も充実しています。クイーンズランド州で留学生に人気のある学校で他文化を大変尊重しています。

広大な敷地には100以上のボートを使用した海洋学習などがあり、先進設備の整った施設には、水産養殖センターや実験室などがあります。



Helensvale State High School ヘレンズバール州立高校



クイーンズランド州
ゴールドコースト

公立共学校 生徒数：約2,600名
学年層：Year8-12（13才～18才）

特色のある科目

ライブプロダクションシアターとイベント、
ファッション、ホスピタリティ、ダンス、
情報技術、メディア、他

「1人の生徒、1つのコミュニティ、多くの未来」を学習目標に、すべての生徒のための学校を作ることモットーにしています。学習、スポーツ、芸術、コミュニティなど、「4つの柱」を通じて力を発揮できる機会を提供します。

生徒一人ひとりが成功することを目指しています。幅広い科目選択や大学、地元のコミュニティとのつながりなど、大規模な学校からもたらされるさまざまな機会とメリットがあり学校生活を豊かにしています。学業、スポーツ、日本語、ビジネス、芸術の分野で幅広いアカデミープログラムを用意しています。当校の目的は、すべての生徒の学習をパーソナライズし、学習とサポートのためにコミュニティとつながりを重要視しています。学習のための積極的行動（PB4L）を学校として取り入れ、学業成績、行動、生活態度などを評価しています。またICT教育の為、生徒各自にデバイスを用いた授業を行っており今後の未来に必要なスキル磨きも行っています。



Benowa State High School ベノワ州立高校



クイーンズランド州
ゴールドコースト

公立共学校 生徒数：約1,950名
学年層：Year8-12（13才～18才）

特色のある科目

国際バカロレア、海洋科学、科学、技術、
工学、日本語

「制限のない多様な進路」の為に学問、スポーツ、芸術など多岐にわたる科目を提供しています。世界各国から60名以上の留学生を受け入れており、彼らがもたらす異文化交流を大切にしています。

当校では、誠実さ、勤勉さ、思いやり、尊敬の思いを促進するために、教員、学校スタッフ、生徒の育成を行っています。それぞれが自分の最善を尽くせる機会を提供することで学校、地域コミュニティを活性化させています。21世紀は世界中を舞台に住み、働き、他の文化との共存が重要になってきます。

当校では多様で魅力的なカリキュラムを通じて学べるための環境作りを目指しています。一般的な科目に加え、国際バカロレアのコースも提供しています。また海洋科学ではクイーンズランド州の本拠地としてこの州の海洋教育の最前線です。そのほか、より高い興味、関心、学習意欲を持っている生徒向けにメリットエントリープログラムがあり、STEMプログラムなどが人気です。



現地での生活

授業風景

先生が一方向的に授業を進める詰めこみスタイルとは違い現地の学校では、生徒自らが考えて、積極的にディスカッションをしたり発言をしたりする場があります。またICT教育も積極的に行われており、学校にはwifi環境が整備され、タブレットやパソコンを持参して、授業を進める学校も多くなっています。



クラブ活動

現地生徒と交流関係を深める為にも、現地校の部活に入ることをお勧め致します。部活の種類は音楽系、スポーツ系、文化系まで、学校や時期等によって様々です。日本のように毎日放課後に練習があるわけではなく、活動は週に1～2回となります。是非、自分の興味があるものから、現地でしか体験できないものまで挑戦してみてください。



ホームステイ

教育省の基準をクリアした現地の一般家庭に入り、その家族の一員として文化の違いを体験する宿泊形式です。また、オーストラリア・ニュージーランドは移民でなりたっている国なので、国籍も幅広く、様々な人種の方々が同じ社会に共存して生活しており、シングルマザーの家庭、子どもがいる家庭、リタイアした老夫婦と様々です。それを自分自身の体験とすることで、多彩な人種の人々を分け隔てなく受入れる心を育てるきっかけにもなります。



第2外国語を学ぼう

もし、あなたが英語と第2外国語が話せるようになったら、あなたの将来は大きな可能性を広げるでしょう
オーストラリア・ニュージーランドの高校では第2外国語教育が盛んです。
OKCでは出発前・帰国後、36ヶ国語168名の講師陣が1対1のオンライン講座を展開しています

ボランティア活動の意義

ボランティア体験は大学入試で評価されるようになりました

留学の目的は語学力向上・国際性の理解・自立心の養成がありますが、これらは留学する個人の勉学や精神的にたくましくする大変意味のあることと思います。それに加えて、ボランティア活動を体験すれば本当の意味で自立することになります。

ボランティア活動に参加することは、社会に貢献することを意味します。中学生・高校生の段階で自分の為ではなく、人の為・社会の為に行動する、それこそが人を理解し社会を理解することに繋がると思います。

海外の多くの大学で高校時代のボランティア活動を高く評価しています。日本の大学でも評価する傾向にあります。

中学生・高校生の皆さん、ぜひボランティア活動に参加しましょう！



環境保護活動



動物保護活動



社会福祉活動



幼児教育活動

「SDGs（エスディージーズ）」とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。このサミットでは、2015年から2030年までの長期的な開発の指針として「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」をSDGsと呼んでいるのです。

国際連合 持続可能な開発に関するグローバル・レポート2019でのあいさつ

私たちの今日の世界と私たちが望む未来は危険にさらされている。過去4年間の懸命な努力にもかかわらず、私たちは2030年までに「持続可能な開発目標」を達成する軌道にはのっていない。人と地球のための決定的な十年に突入するにあたって、私たちは劇的に実施のペースを上げていかなければならない。私たちは、個人、市民団体、企業、自治体、国連加盟国として、私たちがするすべてのことについて、一つひとつ点と点を線で結ぶように関係性をつくるとともに、包摂性と持続可能性の原則を真に受け入れなければならない。科学は、目標を達成するための努力において私たちの大きな味方である。独立した科学者のグループによって作成された「持続可能な開発に関するグローバル・レポート 2019」は、私たちがどこで実施が足りないのか、何をしなければならないのかについての客観的な評価を提示している。このレポートは、相互関係性を活用し、17の「持続可能な開発目標」すべてにわたって進捗を加速するための中心的なエントリポイントを強調している。本報告書は、未来は、私たちが今何をするかによって決定づけられるということ、そして機会の窓は急速に閉じていることを再認識させてくれる。すべての関係者に、この分析から得られた洞察を集団的な行動に変えていくよう呼びかける。私たちの野心を行動に移し、「持続可能な開発目標」の達成に向けて進捗を加速させるために、困難だが必要な選択をともに進んでいこう。

アントニオ・グテーレス 国連事務総長

(国際連合広報センターより抜粋/<https://www.unic.or.jp/files/GSDR2019.pdf>)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



OKCは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

SDGs 17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう



SDGsはまず大きな理想を掲げ、その理想に向かって全ての人々が行動を起こすための全く新しい考え方の下に作ったものです。「目標設定」による新たなグローバルガバナンスへの挑戦の成否は、国や自治体のみならず、企業・市民・NGO・科学者・次世代の若者・全ての参加、取り組み、行動にかかっています。

留学される方に大学入試の主流となる総合型選抜（旧AO入試）のために
3つの目標（英検1級/準1級取得・SDGs研究と論文作成・ボランティア体験）を推奨しています。
OKCはこの3つの目標を達成するためのサポートを行っています。

英語力を飛躍的に伸ばす留学中の『5つの努力』

① 《週日記を書く》 毎日曜日に1週間の出来事や感想を書く



最初にB5版のノート1ページに日本語で書き2ページにそれを英語に訳すのです。
語彙力（単語力）と英作文の力が付き、**書く**技能が身に付くのです。
留学日記は人生の財産になるでしょう。

② 《予習をする》 週3-4時間歴史や数学など1-2科目の予習をする



英語で書かれている教科書を前日、辞書や参考書を使って日本語に訳し、まず日本語で内容を理解し、
その後英語の教科書を読み込み、英文読解力を向上させます。
結果として英語の文章を読めるようになり、**読む**技能が身に付くのです。

③ 《部活・サークルに加入する》 週1-2日の部活動やサークルに参加する



スポーツ系や文科系どちらでも参加すると、勉強とは違った趣味の発見になり、同じ目的を持った友達を見つける
ことになります。友達が見つかることで学校生活が楽しくなり、友達と会話することで**話す**技能が身に
付くのです。

④ 《ボランティア活動に参加する》 「環境保護・動物保護・社会福祉・幼児教育補助」などの活動に参加する



週1回のボランティア活動に参加することで社会貢献を学び、同じ活動を行う友達とめぐり合い、交流を深める
ことで自立につながり、**話す**技能が身に付くのです。
社会に貢献することは人生を豊かにします。

⑤ 《週末のTVニュースを見る》 毎日曜日のTVニュースを見て日本語に訳す



TVニュースで放送された5-6本の報道内容の概要を日本語に訳す。そしてその中で印象に残った1本のニュースの
感想を英語で書く。その結果**聞く**技能が身に付くのです。
ニュースを見ることで世界を知ることにもなります。

英検講座のための担当講師（オプション）



原田 知哉
英検1級
TOEIC®990点

青山学院大学卒
公立中学の英語教師として20年以上
のキャリアを持つ



梅野 攻良
英検1級
TOEIC®990点

筑波大生物学類卒
筑波大学院環境科学研究科修了
東京都立大学法学部卒



高木 恒司
英検1級
TOEIC®990点

ニュージーランドIPC大卒
大学・企業（ソニーオリンパスな
ど）TOEIC®主任講師として活躍



浦谷 めぐみ
英検1級
TOEIC®990点

上智大学外国語学部卒
カリフォルニア大学サンディエゴ校
に留学

SDGsに関するテーマ論文のための担当講師



児玉 宏樹

慶應義塾大学商学部卒
三井物産海外事業関係会社社長などを
経て国際部門で活躍
英語・中国語ビジネスレベル



福井 秀憲

慶應義塾大学商学部卒
JA全農（全国農業協同組合連合会）お
よび同会の米国、ヨルダン国の現地法
人など国際部門で活躍



吉田 浩之

筑波大学社会学類卒
早稲田大学大学院修了
日立製作所、国際事業本部に入社
国際部門で活躍。TOEIC®940点



小野 友一

京都大学工学部卒
オクラホマ州立大学大学院修了
元富士通米国
英検1級

数学補習のための担当講師（オプション）



広瀬 篤嗣
英検1級

東京大学工学部卒
東京大学大学院工学系修了
スタンフォード大学客員研究員
元パナソニック欧州研究所所長



安達 在嗣
英検1級

筑波大生物学類卒
筑波大学生物科学研究科修了
スイスパーゼル大学
キングスカレッジオブロンドン研究員



梅野 攻良
英検1級

筑波大生物学類卒
筑波大学院環境科学研究科修了
東京都立大学法学部卒



岡本 元一
英検1級

東京大学農学部卒業
東京大学大学院修了
シドニー大学スポーツ科学に留学

海外日本人アドバイザー ネットワーク

OKC直営オフィスと経験豊富な日本人アドバイザーが、皆さんの留学生生活をサポートいたします

OKC現地直営オフィス

オーストラリア



シドニー - SYDNEY



ブリスベン - BRISBANE



オークランド - AUCKLAND

ニュージーランド



ウェリントン - WELLINGTON



クライストチャーチ - CHRISTCHURCH

現地アドバイザーが生活面だけでなく、メンタル面も含めケアをし、ご本人の自立心の育成をサポートします。海外での生活や学校、ホームステイでの出来事など、どんなことでも、お気軽にご相談いただき、心配や不安を一緒に解消していきます。また、日本にいらっしゃるご家族への成績表の和訳や定期報告などを行い、病気や事故などの緊急時には担当アドバイザーと24時間連絡が取れ、解決のためのアドバイスや対応を迅速に行います。ご本人だけでなく離れて暮らすご家族全員が安心してお子様の留学生活を見守っていただけます。

現地サポート内容

空港出迎え

日本人スタッフが空港出迎え、ホストファミリーと対面

現地オリエンテーション

バスの乗り方、郵便局の使い方など / 日常生活に役立つアドバイス
現地でのエチケット、ホームステイマナー / トラブル時の安全対策

日本への定期報告

成績表の和訳。学校生活のレポート和訳
ホームステイ、アドバイザー総評

カウンセリング

ホームステイ・金銭面・ホームシック / 友人関係・英語力・学校生活
高校での選択科目へのアドバイス

留学中手続きサポート

ビザ更新・願書提出 / 編入時に必要書類の指示
高校編入準備及び現地高校とのコンタクト
ホームステイ費用や海外留学保険更新の連絡・手続き

現地学校進学の情報提供

海外の国公立大学・専門学校進学 / OKC現地提携大学進学

緊急時の24時間体制の連絡・サポート

病気やけが、事故・災害や犯罪に巻き込まれたとき

その他

日本一時帰国の際の航空券手配
保護者の方への現地訪問時のホテル等手配 など

オーストラリア 現地アドバイザー

ブリスベン

OKC OFFICE



由佳 ニーロン

言葉や考え方の違いで誤解が生じることもあるでしょうが、一つずつ解決していきましょう。

シドニー

OKC OFFICE



林 正治

シドニーはオーストラリア最大の都市です。英語を身につけ、国際性豊かな友達をたくさん見つけてください。

メルボルン

由美子 ホーキンス

勉強だけではなくスポーツやアクティビティなどにも積極的に参加して、たくさんのことを経験してください。

パース



中嶋 美枝子

世界で一番美しいと言われる都市パースで豊かで楽しい滞在が出来るようお手伝いします。

アデレード



千佳 スネドン

多くを感じることが出来るあなたの10代をヨーロッパの面影を残す街アデレードで過ごしてみませんか。

ケアンズ



由美 スミス

しっかりとした目標は、留学生生活を有意義なものにしてくれます。一緒にがんばりましょう。

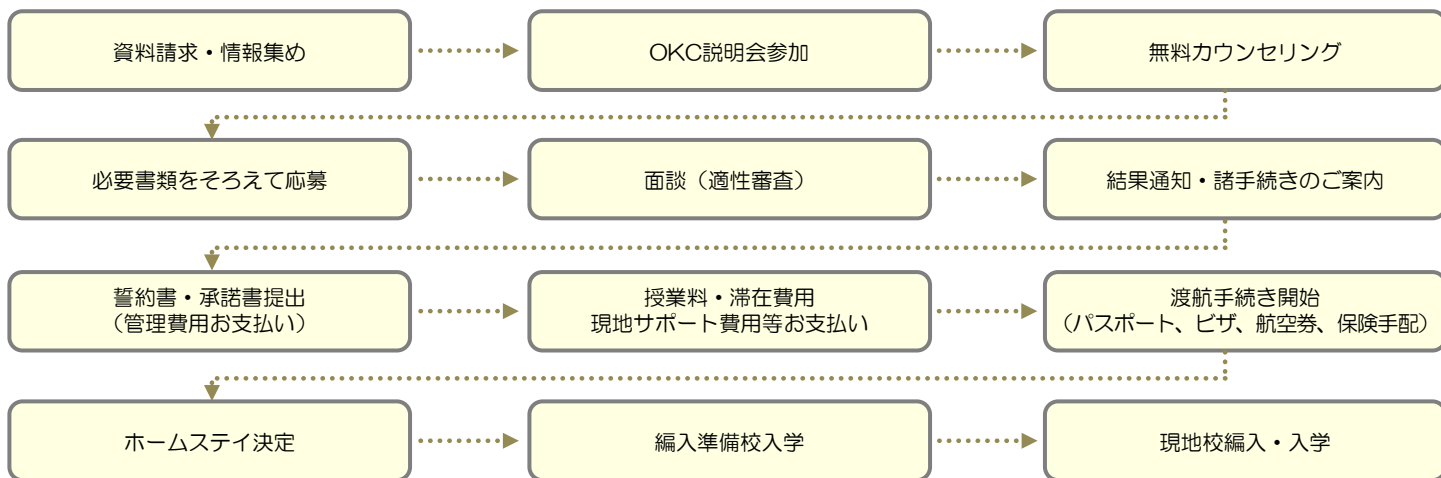
タスマニア



孝女 サバイン

歴史ある美しい島タスマニアで、皆さんのハイスクールライフをサポートいたします。

資料請求・カウンセリング～ご出発まで



必要書類

■ 応募資格 ■

- ① 高等学校在学中であること。
- ② 本人の意思で留学を希望すること。
- ③ 心身ともに健康で、異文化での生活に適應できること。
- ④ 主要 5 科目が 5 段階評価で平均 3.5 以上、英語は 4 以上

■ 応募書類 ■

- ① 申込書（当社規定の用紙）
- ② 写真 2 枚（3.5cm×4.5cm。3ヶ月以内に撮影のもの）
- ③ 過去2年間の成績証明書（英文）
- ④ 高校留学の場合、中学校の卒業証明書又は卒業見込書（英文）
- ⑤ パスポート顔写真ページのコピー
- ⑥ 作文（400～800字程度）
 - 課題 本人：「なぜ留学したいのか」
 - 保護者：「なぜ子供を留学させたいのか」

応募書類受領後、約1週間で面談のご案内を致します。
応募はご出発の9ヶ月前より応募締切日まで随時受け付けています。

■ 面談

面談では、ご本人の留学に対する意識、異文化に適應する能力、また現地校・編入準備校及び現地校で学習していく上で必要な基礎学力を有するかどうかを確認します。

会 場：OKC株式会社内またはオンライン面談も可

内 容：①英語レベルチェック

②適性審査

③面談（本人及び保護者）

費 用：33,000円（税込）＊面談時にご持参ください。

（面談後は結果の如何にかかわらず返金いたしません。）

■ 留学費用として

- ① 教育省の費用は(授業料・ホームステイなど)全て実費でご案内いたします。
- ② 管理費用（税込）：
 - 1年間-198,000円/6ヶ月-132,000円/3ヶ月-88,000円
- ③ 現地サポート費用：(サポート内容は現地サポート案内をご参照下さい)
 - 1年間-A\$3600/6ヶ月-A\$2200/3ヶ月-A\$1500
- ④ 現地空港送迎（入国・帰国時）費用：A\$400

※2022年現在

※航空運賃は別途手配となります。

東京オフィス



Tel : 03-3340-5300
Fax : 03-3340-5327

〒163-0639 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル39階
info@koryu.co.jp

大阪オフィス



Tel : 06-6341-8248
Fax : 06-6341-8143

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1 大阪駅前第3ビル30階
info@koryu.co.jp



OKC株式会社
www.koryu.co.jp

2022年7月25日発行